

平成 19 年度地域支援研修会

# リハビリテーションセミナー

## 遷延性意識障害者と家族支援について考える

遷延性意識障害とは頭部外傷や病気が原因で、(日本脳神経外科学会が定めた植物状態の 6 項目の状態を 3 ヶ月以上遷延し)意識が戻らない状況(いわゆる植物状態)にある患者の状態を示します。

救命救急医療により一命をとりとめた喜びもつかの間、意識が戻らずに、動かない、話さない、呼びかけても反応がない、という植物状態の中で、家族は意識の覚醒を信じ介護を続けています。

そのような遷延性意識障害患者・家族への理解と支援を深めるためには、どのような取り組みが必要なのでしょうか。

### 講演

#### 遷延性意識障害の患者さんと家族支援

##### — 宮城方式の歴史と変遷 —

福島県立医科大学名誉教授 児玉 南海雄医師

### 講話

#### 遷延性意識障害患者の現状と家族支援の課題

全国遷延性意識障害者・家族の会 副代表 沼田 孝市氏

### 日時

平成 20 年 3 月 7 日(金) 13:30～16:00(受付 13:00～)

### 場所

とちぎ福祉プラザ多目的ホール

参加費: 無料(どなたでも参加できます)

◇主催 栃木県

◇連絡先 とちぎリハビリテーションセンター障害者総合相談所

宇都宮市駒生町 3337-1

TEL.028-623-7010 FAX.028-623-7255 E-mail: [soudan@rhc.pref.tochigi.jp](mailto:soudan@rhc.pref.tochigi.jp)

後援: 栃木県医師会、栃木県歯科医師会、栃木県病院協会、栃木県精神衛生協会、栃木県看護協会、栃木県理学療法士会、栃木県作業療法士会、栃木県心身障害児者親の会連合会、栃木県社会福祉協議会、とちぎ健康福祉協会、栃木県ソーシャルワーカー協会、栃木県社会福祉士会、栃木県介護福祉士会、NPO 栃木県障害施設・事業協会、栃木県身体障害者療護施設連絡協議会、栃木県ホームヘルパー協議会、栃木県ボランティア連絡協議会、栃木県リハビリテーション談話会、栃木県医療社会事業協会、栃木県教育委員会、NPO とちぎノーマライゼーション研究会、栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会、栃木県訪問看護ステーション協議会、栃木県言語聴覚士会

**【講師プロフィール】**

**児玉 南海雄(こだま なみお) 医師**

仙台市立病院脳神経外科部長、東北大学医学部脳神経外科助教授、福島県立医科大学脳神経外科教授を歴任され、2007年4月より同大学名誉教授。先生は我が国の脳神経外科のパイオニアであり、恩師である故鈴木二郎先生とともに「モヤモヤ病」の名付け親としてもご高名であります。また、植物状態の6項目の定義を策定された故鈴木先生とともにいち早く我が国の植物状態の患者さんの全国実態調査を行い、公的支援の必要性を訴えてきました。

患者さんの意識をなんとか回復させる手立てはないか医学的アプローチと同時に患者さんを取り巻く社会的問題にもアプローチしています。

**◆参加申込書(H20年3月7日リハビリテーションセミナー)◆**

| 所属・電話番号  | 氏名 | 質問等がありましたらご記入下さい。 |
|--|----|-------------------|
| 電話<br>(       )       -  |    |                   |
|  |    |                   |
|  |    |                   |
|  |    |                   |
|  |    |                   |
| 車いすの希望をご記入下さい。   |    |                   |
|  |    |                   |
| 連絡先:とちぎリハビリテーションセンター障害者総合相談所<br>TEL.028-623-7010 FAX.028-623-7255<br>E-mail soudan@rhc.pref.tochigi.jp |    |                   |

FAX の場合は添書不要です。本用紙に記入のうえ2月29日(金)までにお申し込みください。  
電話、E-mail でもお申し込みいただけます。氏名・電話番号・所属等をご連絡してください。  
\* 電話、FAX 番号はお間違えないようご注意ください。